

合格へ最後の追い込み

一関一高附属中 進学塾 受講生、選抜検査に向け

二十一年度開校する県立一関一高附属中学校の入学者選抜検査を間近に控え、一関市大手町にある進学塾MCS生涯学習センター(本部盛岡市)一関校は十三日から、受検する児童を対象に合格プログラムを始めた。二十五人が受講し、合格をつかもうと最後の追い込みに入っている。

一関校では同日から直前対策として四日間、本番を想定し適性検査、作文を実施。同日夜、受講

された問題を活用し適性検査への対応を指導し、作文添削などに当たってきた。

一関など県南地方の同センター各校では昨春から、通常授業の中で附属中の選抜検査に向けた授業を継続。他道府県の中高一貫校の過去に出題

最後の追い込みで問題に向かう受講生たち



生は緊張した表情で問題に向かっていた。同校では面接対策も併せて行い本番に万全を期す構え。神友樹室長は「みんな表情も引き締まり、精神的な成長も見られている。今までやってきたことに自信を持って頑張っていた。」とエールを送っていた。

選抜検査は、十七日に実施。県教委によると二百二十八人が志願し、平均倍率は二・八五倍(二十年十二月十九日現在)。